トラブルを未然に防ぐ艤装

·Gリング (ラダーヘッドが抜けないために)

強風での沈でラダーヘッドが抜けてしまう場合があります。

一定の強度であればラダーリフトストップで対応できますが。より万全を期すために

特にビギナーセーラーやジュニア・ユースセーラーのセーリングにはGリングの使用をお勧めします!

Gリング



Rピン ※Rピンも活用可能



*Rピンの場合稀に手がかかった場合 ピン先で怪我をする可能性があります ので十分注意してください。

取付状態



ラダーセット 例



板状のラダーリフトストッパーは

ピンドルに接していて、かつピンドル帯金具の段差部分に引っかかるようにセットされている



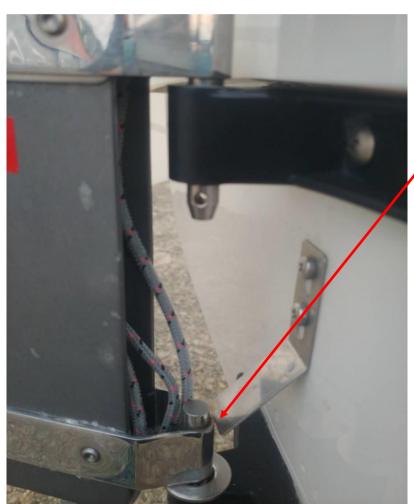
ラダーが抜ける悪い例



ティラーエクステンションとトラベラークラムクリートの間が狭くなり ワッシャーを $1 \sim 2$ 枚入れて応急処置でセーリングする人がいます。 ワッシャーを入れ高さをあげる場合は、必ずラダーリフトストッパーの位置も修正してください。 沈の際にラダーヘッドが抜けてしまいます。

「危険」

ラダーリフトストッパーの位置が修正されていない 修正方法(ピンドル帯金具部分の段差に掛かるようラダーリフトストッパーの 二つのネジを緩め位置を上げる)



ピンドル帯金具には接しているがピンドル帯金具の段差部分から外れている

「危険」

理由: ワッシャーを入れただけで、ラダーリフトストッパーの調整をしなかった為 ピンドル帯金具の段差部分から外れてしまった!



ラダーピンの真上に接しているが 完チンした勢いでストッパーバネが曲がり外れてしまう! 「**危険」**